第6学年竹組算数「単位量当たりの大きさ」略案

指導者 工藤伸子

1.日時 6月8日(金) 1:30~2:15

2.ねらい 単位量当たりの考えを用いて問題を解き,学習内容を深める。(6/6)

3.本時の実際

時間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センター先生の支援	備考
1:30	<p>1.課題と学習活動の流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 単位量当たりの考えを使って問題にチャレンジしよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 写真を提示し,身の回りにも単位量当たりの考えを使っているということに気付くことで本時の意欲付けを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 教室の後ろ側から児童の様子を観察する。 	
1:35	<p>2.問題を解く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>チャレンジコース</p> <ul style="list-style-type: none"> プリント4枚 混み具合の比べ方 人口密度 単位量当たりの大きさと使い方 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>マスターコース</p> <ul style="list-style-type: none"> TV 生活応用問題 </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習のチェックをもとに,計画的に支援する。 順番や枚数は,実態に応じて変えることができるようにする。 	<p>(1:30頃から)</p> <ul style="list-style-type: none"> チャレンジコースが終わった子どもに対応する。 解き方を聞き,助言をする。 	
2:10	<p>3.学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りを机間指導し,発表者を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習のまとめとして,生活に応用されている単位量当たりの考え方を紹介する。 感想などを話す。 	